



〒310-0803 茨城県水戸市城南2-2-21
029-222-3311(代)
http://www.mitoshin.co.jp

PERSON

星野 裕香子さんの場合

お客様と共に 考え、成長し 信頼される存在に

Check

会社を知る人事担当者へ インタビュー

水戸信用金庫は、「Face to face」を大切に、地域に暮らす人とともに、地域の活性化を目指しています。すべては、お客様の出会いから始まります。お客様の

様々なニーズや課題に親身に向き合い、新たなサービスを展開、地域に還元しています。女性職員のスキルアップも積極的に推進しており、窓口業務を長年経験した女性を預金主任に任命する「エキスパート認定制度」や、女性ならではのきめ細やかな目線で預かり資産を提案する「マネーアドバイザー制度」など、女性が活躍できる職務を拡充しました。また



DATA

主な仕事
総合職

渉外係として、お客様を訪問し、ご預金やご融資、預かり資産のご相談やご提案をする仕事です。



星野さんはとても気さくな人柄でお仕事に対しても熱心に活動しています。

取材を終えて



地域の利益を重要視し、職員へのサポートが充実した職場！

茨城女子短期大学 福田 未来さん



支援制度が整い職員が充実して仕事ができる企業！

茨城女子短期大学 入井 愛花さん

お客様への心遣い 社会貢献をモットーに

地域社会への貢献という視点から、就職先を決めたい」と思っていた星野さんは、水戸信用金庫へ就職しキャリアをスタートさせました。現在は、外訪活動を行う得意先係として活躍。「得意先係では、様々な人との出会いを通じて自身の教養を深め、見聞を広げられる仕事」と感じています。

庫内で推奨する通信講座や外部資格取得にも積極的に取り組む、「お客様からの質問には、自分の知識を蓄えて還元したい」と話します。

仕事に対する基本姿勢は笑顔で真摯に対応すること。「お客様、そし

て地域を元気にすることも、しんきんウーマンである私の仕事ですが、お客様から笑顔をもたらえる素敵な仕事でもあるんです」と星野さんは、微笑みながら話してくれました。

お客様のライフプランに合った提案をし、喜んでいただけた時、仕事の楽しさを感じます。「相手の立場になって考えることが、お客様との信頼関係を築くことに繋がります」と話す星野さんから、仕事に対する熱意が伝わってきました。

これから就職する女性や、すでに働く女性の皆さんへ、「女性は、結婚など人生において様々な転換期がありますが、その都度自分がベストと思う道を選び、前進したほうが良い」とアドバイスをいただきました。

女性活躍のココがスゴい!

- 01 **人財育成の強化**
「企業は、人なり」として、職員の育成に力を注いでいます。職員にはジョブローテーションを通して、様々な職務を経験し活躍の幅を広げます。
- 02 **仕事とプライベートを充実させる**
「全店一斉ノー残業デー」や「ノー残業チャレンジweek」を設け、職員ひとりひとりが働きやすい職場環境を作りだしています。
- 03 **育児休暇等の復職サポート**
復職のフォロー体制も充実。相談窓口の設置や希望者に復職前研修を実施し、復職をサポートしています。

みとしんは、
最も身近な金融サービスで
地域経済の発展に貢献する
コミュニティバンクです



人事部
大島 佐織さん



[本社] 〒317-0077 茨城県日立市城南町1-5-1
0294-22-0510(内)
<http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/eastjapan/>

森 千晶さんの場合

PERSON

お客様と共に
考え、成長し
信頼される存在に



DATA
| 主な仕事 |
事務職

発送事務、請求事務、
購買事務、顧客窓口な
どを担当しています。

積極的に意見を出し、まじめに的確に働いていて、
周囲の信頼が厚い。ムードメーカー的な存在です。

取材を終えて



女性が少ない中でも、育休
制度がしっかりしている会
社でした。
常盤大学 石嶋藍梨さん



従業員の人の雰囲気が良
く、笑顔溢れる素敵な会社。
茨城キリスト教大学 市川佳さん

Check 会社を知る人事担当者へ インタビュー

2017年に創立55周年を迎えた株式会社日立物流東日本。茨城県及び東北6県を中心にお客様の物流業務をフルサポートする事業を展開し、幅広い業種のお客様

様に質の高いサービスを提供しています。「広く未来をみつめ人と自然を大切にし、良質なサービスを通じて豊かな社会づくりに貢献する」という企業理念のもと、社員はいきいきと働いています。従業員の男女比は、男性が約90%、女性が約10%です。女性社員の積極的な採用と活躍をさらに醸成させるため、2017年から女性社員向け研修



女性、男性それぞれの
目線、感性を生かし
働くことができます!



人事部 総務課
松下 茂夫さん

を実施しています。その成果として、平成29年度に茨城県女性が輝く優良企業に認定されました。育休取得後はほぼ100%復職しており、半数の人は4〜7時間の短時間勤務制度を利用しています。職場内の社員同士で仕事をカバーし合う雰囲気の良い職場であるため、短時間勤務の制度を利用しやすい環境となつています。

自分の目標達成に励み 楽しく元気に!

日本経済の成長が著しく停滞していた1999年代に日立物流東日本へ入社した森さん。「仕事も目標なども特になくざっくりと、事務員がいいなあ」と職種を選択したそうです。「与えられた仕事は最後まできちんとこなす」が、森さんのモットー。入社した当時に比べて、

出来ないことでも一度は挑戦するとう、チャレンジ意欲が今湧いているそうです。社内職場でも積極的に意見を発信、まじめで的確と周囲の信頼も厚いといえます。今までは、女性は事務所にいれればいいという考えだった森さん。しかし、自身も仕事を通じて、色々な部署を見る機会が増

女性活躍のヨコがスゴイ!

- 01 育児支援体制の整備
育児短時間勤務制度において、従業員の希望に応じ勤務時間を複数から選択できます。
- 02 女性活躍の研修会を実施
女性管理職の方や社長のお話を聞き、女性職員同士の座談会を開いています。女性の働き方や在り方を改めて考える機会となっております。
- 03 仕事と家庭バランスよく過ごす
毎月1日以上の定時退勤日を全事業所で設定し、職員が仕事と生活の両立を実現できる職場づくりを推進しています。

え、他部署の女性は他にもこんな事をやっているのかと気づかされました。同時に、「私にもできるのかな?」と仕事に対する姿勢が変わったと振り返ります。
また、育休を取得する前後での仕事への考え方も変わりました。会社で与えられた仕事をこなしていた育休前は仕事への意欲も低かったそうです。復帰後は「会社で必要とされる人材になりたい」と仕事に対する意欲が強くなりました。
森さんは「やりたいことがあったら、意欲がある時にすぐ行動することが大切」と同じ社会で働く女性にメッセージ。女性だからという固定概念を捨て、女性でも活躍できる場所を広げていけるようにしてほしいと熱く語ってくれました。





〒317-0073 茨城県日立市幸町1-20-2
0294-25-1269(代)
http://www.hitachi-life.co.jp/

PERSON

益子 英子さんの場合

新しい挑戦は ワクワク楽しく 努力を重ねる



Check

会社を知る人事担当者へ インタビュー

日 日立ライフは、1939年(昭和14年)に設立。日立製作所創業の精神である「和」「誠」「開拓者精神」を受け継ぎ、優れた商品、サービスの開発提供を通じて、社会

に貢献しています。「不動産事業」、「流通サービス事業」、「社会サービス事業」を軸に多岐に渡ります。女性の従業員数は、全体割合の51%で男性より少し多いことが特徴です。ワークライフ・バランスの推進に積極的に取り組み、会社独自の「働き方宣言」として、勤務時間内でもメリハリをつけた仕事の取組みを推奨しています。また、女性活躍

DATA

主な仕事
課長職

部下のマネジメントや販売戦略の立案、営業として接客も行います。



自分の仕事の幅を広げるために、様々な資格を取得している益子さん。仕事に対して常に改善策を考え、真摯に向かっています。

取材を終えて



女性活躍推進や支援の充実度◎。アットホームな企業
茨城キリスト教大学 大内あかりさん



やりがいを持って仕事をしている姿が印象的でした。
茨城キリスト教大学 市川 由佳さん

益

やりがいと楽しさをもって
仕事を磨く努力も忘れずに

子さんの仕事に対する基本姿勢は「プラスアルファでもっと何かできないか、と考えること」。

入社から日立ライフひとすじでキャリアを磨いてきました。2000年にはインテリアコーディネーターの資格を仕事と両立しながら取得。「お客様のご要望をヒアリングし、ニーズに合うインテリアの提案やアドバイスをする仕事で、とても楽しかった。お客様に感謝の言葉をもらった時がとても嬉しく、やりがいを感しました」と振り返ります。資格を活かして、設計からマンション営業、経営企画へと様々な部署を経験し現在に至ります。「様々な部署を経験し

たからこそ見えてきたことも多々あり、現在の自分があると思っています。業務が変わることに対しては、不安50%、ワクワク感50%」と笑顔で話す益子さん。

また、女性が働きやすい職場環境づくりを推進しながら、女性ならではの視点や発想を会社事業に繋げるために結成された女性活躍推進チーム「マドンナ会」にも発足から積極的に参加しています。そして現在は、不動産事業で女性初の管理職に登用され、女性社員のロールモデルとなる存在です。「女性ならではの、細やかな気配りを発揮することで、チームワークを向上させ、組織力を高めたい」と今後の展望を熱く語ってくれました。

積極的な社会貢献活動を通じ、真に豊かな社会の実現に尽力しています



人事部
久保 哲弥さん 布施 愛さん

女性活躍のココがスゴい!

- 01 女性のキャリア形成支援
- 02 マドンナ会活動の発足
- 03 長期間の育児休暇

01 女性のキャリア形成支援

日立グループ若手女性向けキャリアアップセミナー、日立グループ産休後・復職支援セミナーなどを開催しています。

02 マドンナ会活動の発足

それぞれの部門から選出された10名程の女性で結成されたチーム。女性ならではの視点や発想を会社事業に繋げています。

03 長期間の育児休暇

小学校1年修了時の3月31日まで取得が可能です。



〒312-0042 茨城県ひたちなか市東大島2-2-16
029-274-1791(代)
https://ono-group.jp/

藤枝 美紀さんの場合 PERSON

「超かわいく！」 楽しんで 仕事をする



DATA

【主な仕事】
ヘアメイク
アドバイザー

成人式の着付け、ヘアメイク、着物の管理を担当。カウンセリングでもお客様の理想に近いものを作り上げていきます。



成人式の前撮りを心待ちにしていたお客様のヘアメイクを一つ一つ丁寧に仕上げる藤枝さん。お客様の要望に応えつつも、自身も提案を行う。

取材を終えて



笑顔で対応!この仕事を楽しんでいるなと感じました。

茨城女子短期大学 清水くるみさん



お客様の提案をしっかりと受け止め理想に近いものを作り上げていく企業。

茨城女子短期大学 入井 愛花さん

会社を知る人事担当者へインタビュー

Check

1 976年創業の小野写真館は、現社長のご両親が創業したのが始まり。2006年に店舗展開をはじめ、ブライダルフォト専門「アンシャンテ」や「二十歳振袖館」

「A z」、完全貸切型スタジオ「Cocoa」など、人生の節目に寄り添うフォトスタジオとして成長しています。
全社員180名の約80%が女性のためグループ全体の女性活躍はめざましく、店長やエリアマネージャーに登用されるスタッフも在籍。そのため結婚や出産に対しても寄り添える体制は万全です。特に、育休産

写真で
笑顔、幸せ、感動を
届けます!



人事部
堀越 愛加さん

体の取得は100%で、復職フォローの社内風土も定着しています。
働く女性に求める人物像として「向上心を意識することが大事、自らの目標をもって仕事をし、欲しい」と話す堀越さん。写真を通して、世界に笑顔、幸せ、感動を連鎖させる小野写真館グループは、仕事を通して成長できる環境が整っています。

「楽しみながら仕事する」

人生のイベントに寄り添い

ブ ライダル関連の仕事を熱望し、探していたところ同グループ内のアンシャンテを見つけ応募したことがきっかけで入社した藤枝さん。当初配属されたグランフォト小野写真館では七五三やお子様の撮影を中心に担当。お客様からは見えないう撮影の準備や衣装の管理など仕事の幅が広いことに当初驚いたそうです。しかし、持ち前の明るさ、接客好きが功を奏し「楽しく仕事はできているし、働き方もマッチしています」と満足気。人生の節目を迎える家族に寄り添い、小野写真館の七五三ではママ目線、A zの成人式では同じ女性としてご本人の理想を

女性活躍のヨコがすごい!

- 01 働き方次第で雇用形態を選べる!
- 02 育休、産休取得はほぼ100%!
- 03 計画休暇でワーク・ライフ・バランス◎

結婚や出産、子どもの成長にあわせて働き方を変えたいという要望に寄り添える雇用形態になっています。

育休、産休が充実しているので安心して休むことができ、復帰した後ももしっかりとサポートしてもらえます。

小野写真館では年度の初めに休暇計画書を提出。1年間の予定を把握し休暇を決定。前もって提出することでスムーズに有給が取得できます。





〒319-3526 茨城県久慈郡大子町1835-2
0295-72-2608(代)

PERSON

鈴木 由美さんの場合

資格取得で 自分も仕事も スキルアップ!



Check

会社を知る人事担当者へ インタビュー

海 老根建設は、県から発注され
た公共工事を中心に年間5
億〜6億の売上実績を目標に取り
組んでいます。社内全体はアットホー
ムな雰囲気、男女ともに社員一人

DATA

【主な仕事】
総務部

積算から入札・契約や、
工事書類の作成など、
事務全般の仕事を広
い範囲で行っています。



鈴木さんは2級土木施工管理技士・2級建設業経
理士の2つの資格を持ち、アットホームな雰囲気
の中で笑顔を忘れずに働いています。

取材を終えて



地元の活性化を強く想い、
社員同士の仲がよい企業!

常磐大学 和田 千遥さん



取得可能な資格が豊富な
為自分に合うスキルを取得
することが可能。

茨城女子短期大学 福田 未来さん

ひとりごの自らの意見を発信すること
が出来る社内風土。
特に、ワークライフバランス改革
を重点的に行いました。実際に、公
共工事の現場で働く社員は、長期的
かつ途中で休暇を得ることが難し
く、有給が消費しきれない問題があ
りました。それをあらかじめ年間で
有給日を指定することで、現場の段
取りがしやすくなり、過度な休暇で

オンとオフのスイッチで 仕事も家庭も両立できる

3 児の母で、専業主婦だった鈴
木さんは、「マイホームの建
設」が建設業界で働くきっかけ。入
社の決め手は「残業がない」というこ
と。絶賛子育て中だったこともあり、
その条件は外せなかったそうです。
この業界で働くことは、初めての挑
戦で「建設関係の知識や資格があつ
たわけでもなかった」と振り返りま
す。仕事を始めた当初はパソコンに
不慣れで、WordもExcelも使い方が
分からなかったため、本屋で参考書
を買って勉強したそうです。その努
力の結果、「今では、誰よりも詳しく
て、使いこなせるようになった」と自
信をもって話します。

社員の作業効率が高がる利点が増
えたそうです。
人事担当の柳瀬さんは、「多くの
学生さん方には、地元を廃れさせな
いため若者が地元に残りその地元で
働くことが非常に重要になるという
ことを知ってほしいと思っています
」と話します。

鈴木さんの仕事に対する基本姿
勢は「報告・連絡・相談」。クライアン
トと事務所、現場とをスムーズに繋
ぐ、大切に責任のある仕事です。こ
の姿勢は家庭でも同様で、仕事で疲
れていても、子供の話を聞いて、笑う
ことを大切にしています。「仕事を
家庭に持ち込まないことが、自分の
中のルールです」と話す鈴木さん。同
じ社会を生きる主婦たちは、仕事と
家庭と、どちらも頑張らずにしま
いがち。頑張らない自分も認めるこ
とが、両立できる秘訣なのだそうで
す。

今後の目標は、「もう1つ資格を
取る」と話す鈴木さん。資格は一
生もの。会社のため、自分のスキル
アップのため、頑張ってみようかなと
話してくれました。

女性活躍のココがスゴい!

- 01 仕事と休日
オンオフの
バランス◎
- 02 女性が輝く
優良企業
1つ星獲得
- 03 自己研鑽で
技術資格を
磨く

有給日を指定し、適切
にバランスよく働いて
います。そのほか有給
の1時間単位の取得
で休暇の在り方を改
善、社員自身の育児や
介護に積極的に参加
できる場を目指してい
ます。

家庭と両立で難れる職
場づくりを推進。社員
各々の家庭事情によ
りあった休暇取得およ
び働き方の選択肢をひ
ろげ、いきいきとやり
がいをもって働ける環
境を整えています。

二十種類以上ある資
格を積極的に取得で
き、会社に貢献して
いる自信につなげま
す。また女性の活躍を
支援し、登用しています。

「地域と共に、社員と共に」を

経営方針とし、
総合建設や土木一般を
中心に受け持つ



人事部
柳瀬 泰志さん